

事業報告書

2023年度

自 2023年 1月 1日

至 2023年12月31日

公益財団法人 岩谷直治記念財団



目 次

事業概況と実績	2
1. エネルギー及び環境に関する独創的で優れた研究に 対する助成	3
2. エネルギー及び環境に関する優れた技術開発で顕著な 産業上の実績が認められる業績の表彰	6
3. 人材育成と国際交流への助成	7
4. 情報活動	8
5. 主要事業日誌	8
事業報告の附属明細書	11

<事業概況と実績>

当財団は科学技術に関する研究開発の助成及び奨励、国際交流の推進のための援助並びに人材の育成を行なうことにより、科学技術全般の一層の発展を図り、もって国民生活の向上及び国際的な相互理解の促進に寄与することを目的としております。
その達成のために2023年度においては、つぎの事業を実施いたしました。

1. エネルギー及び環境に関する独創的で優れた研究に対する助成

- ① 第50回（2023年度）岩谷科学技術研究助成 75件 149,100千円
- ② 第1回（2023年度）岩谷科学技術特別研究助成 14件 138,050千円
※助成金は2024年度以降に費消

2. エネルギー及び環境に関する優れた技術開発で顕著な産業上の実績が認められる業績の表彰

- 第50回（2023年度）岩谷直治記念賞（一般対象） 1件 5,000千円
- （中小企業対象） 2件 10,000千円

3. 自然科学分野における人材育成と国際交流への助成

岩谷国際留学生奨学助成 50,115千円

- 第49回（2023年度）奨学生（新規） 19名
- 第48回（2022年度）奨学生（継続） 9名
- 第46回（2020年度）奨学生（継続） 1名

2023年度までの累計で、岩谷科学技術研究助成は1,169件 23億4,057万円、岩谷直治記念賞は50件 1億2,500万円、岩谷国際留学生奨学助成は517名 9億9,715万円に達しました。

1. エネルギー及び環境に関する独創的で優れた研究に対する助成

－①岩谷科学技術研究助成－

1) 決定

選考委員会推薦の別表1に記載の75件を、2023年12月開催の臨時理事会で承認した後、理事長が第50回（2023年度）助成対象に決定した。
助成金総額は149,100千円。

2) 助成対象と推薦

(1) 助成対象

「エネルギー及び環境」を中心とした関連研究分野における基礎的研究並びに応用開発などの実用的研究

(2) 推薦期間

6月1日～7月31日（2ヶ月間）

(3) 推薦依頼先

国立大学	私立大学	公立大学	高等専門 学校	大学院 大学	合計
170	123	38	59	8	398

(4) 応募件数

184件（前年度197件）

3) 選考経過

(1) 第1回選考委員会（9月5日）

本年度の応募総数184件を11名の選考委員で分担し書類選考を行うことを決定した。応募案件1件について2名の選考委員が専門性を加味し審査を担当するため、1人当たりの審査件数は33～34件となった。

(2) 書類審査

各選考委員は定められた「審査基準及び審査報告」に基づき書類審査を行い、審査内容を記載した「評価表」を事務局で「審査集計表」にまとめ、選考委員長に提出した。

(3) 第2回選考委員会（11月29日）

各選考委員から提出された「評価表」及び「審査集計表」をもとに審議を行った結果、研究助成候補として別表1の75件の推薦を決定した。

4) 第10回研究成果発表会

日時：2023年3月7日 13:30～15:00

場所：日比谷国際ビル 8階 コンファレンススクエア

(1) 研究成果発表（3分間スピーチ）

助成金受領者による研究成果発表（3分間スピーチ）のオンライン配信を行い、研究の成果や途中経過について発表を行った。

発表者：第48回（2021年度）助成金受領者 68名

(2) 質疑応答

選考委員11名と発表者68名によりオンラインでの質疑応答を行った。

(3) ポスター掲示

特設Webサイト上に発表者68名のポスターを掲出した。

5) 第49回（2022年度）岩谷科学技術研究助成金贈呈式

日時：2023年3月7日 15:30～16:30

場所：日比谷国際ビル 8階 コンファレンススクエア

(1) 研究助成金贈呈書授与

第49回（2022年度）助成金受領者72名に対して、研究助成金贈呈書の授与を行った。

—②岩谷科学技術特別研究助成—

1) 決定

選考委員会推薦の別表2に記載の14件を、2023年12月開催の臨時理事会で承認した後、理事長が第1回（2023年度）助成対象に決定した。

助成金総額は138,050千円。

2) 助成対象と推薦

(1) 助成対象

「エネルギー及び環境」を中心とした関連研究分野における基礎的研究並びに応用開発などの実用的研究

(2) 推薦期間

6月1日～7月31日（2ヶ月間）

(3) 推薦依頼先

国立大学	私立大学	公立大学	高等専門学校	大学院大学	合計
170	123	38	59	8	398

(4) 応募件数

47件

3) 選考経過

(1) 第1回選考委員会(9月5日)

本年度の応募総数47件を11名の選考委員で分担し書類選考を行うことを決定した。応募案件1件について2名の選考委員が専門性を加味し審査を担当するため、1人当りの審査件数は8～9件となった。

(2) 書類審査

各選考委員は定められた「審査基準及び審査報告」に基づき書類審査を行い、審査内容を記載した「評価表」を事務局で「審査集計表」にまとめ、選考委員長に提出した。

(3) 第2回選考委員会(11月29日)

各選考委員から提出された「評価表」及び「審査集計表」をもとに審議を行った結果、研究助成候補として別表2の14件の推薦を決定した。

2. エネルギー及び環境に関する優れた技術開発で顕著な産業上の実績が認められる業績の表彰

－岩谷直治記念賞－

1) 決定

選考委員会推薦の別表3に記載の3件を2023年12月開催の臨時理事会で承認した後、理事長が記念賞に決定した。

副賞金額は、1件につき5,000千円。

2) 表彰対象と推薦

(1) 表彰対象

エネルギー及び環境に関する優れた技術開発で顕著な産業上の実績が認められる業績の表彰

一般対象、中小企業対象 各2件以内

(2) 推薦期間

6月1日～8月31日（3ヶ月間）

(3) 推薦依頼先

学会・協会等	商工会等	中小企業 支援団体等	合計
170	116	106	392

(4) 推薦件数

11件（一般対象4件、中小企業対象7件）

3) 選考経過

(1) 第1回選考委員会（9月5日）

推薦案件1件を選考委員全員で審査することとした。

(2) 書類審査

各選考委員は定められた「審査基準及び審査報告」に基づき書類審査を行い、審査内容を記載した「評価表」を事務局で「審査集計表」にまとめ、選考委員長に提出した。

(3) 第2回選考委員会（11月29日）

各選考委員から提出された「評価表」及び「審査集計表」をもとに、技術的独創性、産業上の実績等の視点から審議を行った結果、岩谷直治記念賞候補として別表3の3件の推薦を決定した。

3. 人材育成と国際交流への助成

—岩谷国際留学生奨学助成—

1) 決定

岩谷国際奨学生を決定した。

第49回（2023年度）奨学生（新規） 19名

第48回（2022年度）奨学生（継続） 9名

第46回（2020年度）奨学生（継続） 1名

奨学金総額は50,115千円

2) 選考経過

2022年12月1日～20日まで20日間に亘り留学生の公募をしたところ、196名（前年度152名）の応募があった。

2023年1月～2月に実施した書類審査・面接により、別表4-1記載の19名を選考し、理事長が第49回（2023年度）の新規奨学生に決定した。なお、学位の取得を目指す別表4-2記載の2022年度奨学生9名、及び2020年度奨学生1名については、継続して岩谷国際奨学生とした。

3) 交流活動

(1) 奨学生間及び奨学生と財団の相互理解と親睦を図るため例会を開催した。

<第48回（2022年度）奨学生>

第5回例会（3月8日） 於：財団会議室

内 容：2022年度の振り返り

参加者：奨学生14名

<第49回（2023年度）奨学生>

第1回例会（4月21日） 於：都内

内 容：オリエンテーション

参加者：奨学生19名

第2回例会（7月7日） 於：都内近郊

内 容：都内見学、体験

参加者：奨学生18名

第3回例会（9月14日～16日） 於：島根県、鳥取県

内 容：研修旅行（工場見学、美術館等見学、体験）

参加者：奨学生18名

第4回例会（12月7日～8日） 於：都内・埼玉近郊

内 容：研究発表会、個人面談、工場見学、体験

参加者：奨学生19名

- (2) 学位取得後、日本や各地域で活躍している奨学生OB・OGとの交流を図るため、岩谷国際奨学生「友の会」を開催した。

第5回韓国支部会（7月15日） 於：韓国・ソウル

内 容：財団活動状況報告、奨学生OB・OG近況報告

参加者：奨学生OB・OGと家族等 73名

4. 情報活動

1) 出版・刊行物

- (1) 財団機関誌「needs」を8月1日に刊行し、各地の図書館、他財団、当財団関係者及び奨学生、奨学生OB・OGに送付した。(1,150部)
- (2) 「研究報告書」を8月1日に刊行し、研究助成金を受領した先生方の他、各地の図書館、他財団及び当財団関係者に送付した。(800部)
- (3) 贈呈式ブックレット
岩谷科学技術研究助成金受領者を掲載した冊子を作成し、贈呈式出席者等に配布した。(250部)

2) インターネットによる情報開示

岩谷科学技術研究助成、岩谷直治記念賞および岩谷国際留学生奨学助成の3事業や、当財団に関する情報などを広く一般に公開している。

また、3事業の会員専用ページを活用することによって、交流と業務の効率化を図っている。

5. 主要事業日誌

年月日	内 容
2023/1/17	第49回(2023年度)岩谷国際奨学生候補者書類選考
2/ 1	2022年度(2022年1月1日～12月31日)監査
2/ 9～10	第49回(2023年度)岩谷国際奨学生候補者面接選考
2/20	2023年度第1回定例理事会
	・2022年度(1月1日～12月31日)事業報告書(案)並びに計算書類(案)承認
	・理事候補者(2023年3月14日～2025年3月)(案)承認
	・第50回(2023年度)岩谷科学技術研究助成候補者募集要項(案)及び申請書(案)承認
	・第1回(2023年度)岩谷科学技術特別研究助成候補者募集要項(案)及び申請書(案)承認

年 月 日	内 容
	・ 第50回(2023年度)岩谷直治記念賞候補者募集要項(案)及び申請書(案)承認
	・ 2023年度定時評議員会開催(案)承認
	・ 理事長及び常務理事の職務執行状況報告 他
3/ 6	第49回(2023年度)岩谷国際奨学生決定(19名)
3/ 7	第10回研究成果発表会
	第49回(2022年度)岩谷科学技術研究助成金贈呈式
3/ 8	第48回(2022年度)岩谷国際奨学生第5回例会
3/14	2023年度定時評議員会
	・ 2022年度(1月1日～12月31日)計算書類(案)承認
	・ 理事選任(2023年3月14日～2025年3月)(案)承認
	・ 2022年度(1月1日～12月31日)事業報告 他
3/20	2023年度第1回臨時理事会(決議の省略)
	・ 理事長、常務理事選定
3/27	内閣府に事業報告等に係る提出書(2022年度分)提出
4/ 6	麹町税務署に「公益法人等の損益計算書等の提出書」(2022年度)提出
4/21	第49回(2023年度)岩谷国際奨学生第1回例会
6/ 1	第50回(2023年度)岩谷直治記念賞候補者募集開始
	第50回(2023年度)岩谷科学技術研究助成候補者募集開始
	第1回(2023年度)岩谷科学技術特別研究助成候補者募集開始
6/ 8	2023年度第2回臨時理事会(決議の省略)
	・ この法人が保有する株式等の議決権の行使承認
6/26	内閣府に変更届出書提出
7/ 7	第49回(2023年度)岩谷国際奨学生第2回例会
7/15	岩谷国際奨学生「友の会」第5回韓国支部会
7/31	岩谷科学技術研究助成応募締切(184件)
	岩谷科学技術特別研究助成応募締切(47件)
8/ 1	研究報告書(Vol. 46)発刊 財団機関誌「needs」(Vol. 49)発刊
8/31	岩谷直治記念賞推薦締切(11件)
9/ 5	2023年度第1回選考委員会(研究助成・記念賞)
9/14～16	第49回(2023年度)岩谷国際奨学生第3回例会(研修旅行)

年 月 日	内 容
11/13	2023年度第2回定例理事会
	・ 2024年度(1月1日～12月31日)事業計画書(案)承認
	・ 2024年度(1月1日～12月31日)収支予算書(案)並びに 「資金調達及び設備投資の見込みについて」(案)承認
	・ 理事長及び常務理事の職務執行状況報告 他
11/29	2023年度第2回選考委員会(研究助成・記念賞)
12/ 1	内閣府に2023年度事業計画書及び収支予算書提出
12/ 1	第50回(2024年度)岩谷国際奨学生募集開始
	第1回(2024年度)岩谷日本人大学院生奨学生募集開始
12/ 7～8	第49回(2023年度)岩谷国際奨学生第4回例会
12/ 8	2023年度第3回臨時理事会(決議の省略)
	・ 第50回(2023年度)岩谷科学技術研究助成候補75件承認
	・ 第1回(2023年度)岩谷科学技術特別研究助成候補14件承認
	・ 第50回(2023年度)岩谷直治記念賞候補3件承認
	・ 特定費用準備資金の積立(案)、取崩(案)承認
12/20	第50回(2023年度)岩谷直治記念賞受賞者、研究助成金受領者開示
12/20	第50回(2024年度)岩谷国際奨学生募集締切(258名)
	第1回(2024年度)岩谷日本人大学院生奨学生募集締切(105名)
	以 上

事業報告の附属明細書

2023年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項なし。

第50回(2023年度)岩谷科学技術研究助成金受領者

別表1

番号	所属	役職・研究者	研究テーマ	助成金額 (千円)
1	山梨大学 大学院総合研究部	准教授 青柳 潤一郎	パルス放電を用いた低毒性・高性能HAN系グリーンプロペラントロケットの開発	2,000
2	九州大学 大学院農学研究院	教授 東江 栄	微生物・植物共生関係を利用した食料非競合型新規バイオエネルギー燃料開発と水質浄化	1,600
3	兵庫県立大学 大学院理学研究科	教授 吾郷 友宏	安定な開裂有機化合物を活用した近赤外光吸収材料の開発	2,000
4	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科	教授 網代 広治	ガスハイドレート生成防止剤のために構造制御された <i>N</i> -ビニルアミド共重合体の創製	2,000
5	京都大学 大学院工学研究科	助教 安達 眞聡	進行波電界と大気圧プラズマを併用した静電気的現象による太陽光発電パネル上に堆積した砂塵のクリーニング	2,000
6	工学院大学 先進工学部	准教授 油井 信弘	気生微細藻類の気相高濃度CO ₂ 条件下でのバイオディーゼル代謝解析	2,000
7	名古屋工業大学 大学院工学研究科	教授 池田 勝佳	テラヘルツ界面分光による水素結合ダイナミクス計測で探る水素発生反応の高効率化	2,000
8	名古屋工業大学 大学院工学研究科	准教授 石井 大佑	エラスティックウッドを利用したプラスチック代替材料の開発	2,000
9	九州大学 大学院総合理工学研究院	准教授 石田 洋平	太陽光エネルギーの化学固定を行う人工光合成システムの構築	2,000
10	東京農工大学 大学院工学研究院	准教授 一川 尚広	界面プロトンホッピング伝導を利用した革新的高分子電解質膜の開発	2,000
11	宮崎大学 工学教育研究部	助教 稲田 飛鳥	有機汚染物質除去を指向したバイオ超分子集合体の開発	2,000
12	近畿大学 理工学部	教授 今井 喜胤	生分解性円偏光吸収・発光フィルムの開発	2,000
13	日本大学 文理学部	助手 岩崎 義己	有機磁性体が導く超熱輸送と伝熱制御性の研究	2,000
14	名古屋大学 トランスフォーマティブ生命分子研究所	特任助教 宇佐見 享嗣	機能性分子ナノカーボン生産性を飛躍的に高めた生体触媒の作出	2,000
15	愛知医科大学 医学部	講師 梅村 朋弘	太陽熱蒸留装置(TrSS)の実証実験:安全な水を得ることが難しいバングラデシュ南部デルタ地帯で実用を目指す!	2,000
16	奈良女子大学 研究院自然科学系	教授 浦 康之	鉄触媒を用いたリグニンモデル化合物の環境調和型酸化的分解反応の開発	2,000
17	阿南工業高等専門学校 創造技術工学科	助教 江連 涼友	温室効果ガスの分離・回収装置の設計に向けたガスハイドレートスラリーの流動状態の制御方法の開発	2,000
18	山形大学 学術研究院理学部主担当	助教 江部 日南子	ポリマー分散型多積層膜を用いた高発光かつ高安定な白色発光ペロブスカイト膜の創出	2,000
19	大阪大学 大学院工学研究科	准教授 大参 宏昌	非平衡活性水素ガスを利用した超薄型単結晶シリコン基板の創成	2,000
20	東京農工大学 大学院農学研究院	教授 岡崎 伸	次世代バイオ燃料植物ポンガミアの国内遺伝資源調査と共生根粒菌収集	2,000
21	大阪公立大学 大学院工学研究科	准教授 岡本 尚樹	廃棄シリコンナノ粒子の構造改変による次世代二次イオン電池用高容量負極材の長寿命化	2,000
22	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科	助教 加藤 匠	放射線計測用の熱蛍光材料を基にした新規蓄光体の開発	2,000
23	久留米工業高等専門学校 生物応用化学科	准教授 我部 篤	金属ナノ粒子が炭素膜に被覆されたコアシェル構造を有する高性能なORR触媒の創出	2,000
24	京都大学 大学院エネルギー科学研究科	教授 亀田 貴之	花粉由来タンパク質の黄砂表面における化学的変質と花粉症症状増悪に対する影響	2,000
25	関西大学 システム理工学部	准教授 川田 将平	摩擦により形成されるイオン液体由来潤滑膜の成長に雰囲気中水分が与える影響の解明	2,000
26	京都大学 大学院エネルギー科学研究科	准教授 川西 咲子	液相エビタキシーを用いた高変換効率な硫化スズホモ接合太陽電池の実現	2,000
27	筑波大学 システム情報系	助教 グエン ヴァン チェト	デジタル適用バンド幅ヒステリシス電流制御による電力ルータの実現	2,000

第50回(2023年度)岩谷科学技術研究助成金受領者

別表1

番号	所 属	役職・研究者	研 究 テ ー マ	助成金額 (千円)
28	信州大学 繊維学部	助教 小嶋 隆幸	CO ₂ 還元のためのCu複合金属間化合物触媒の開発	2,000
29	山梨大学 大学院総合研究部	准教授 後藤 聡	宇宙線ミュオン小型検出器を用いた河川堤防の新たな非破壊探査手法の開発と環境保全	2,000
30	東京理科大学 先進工学部	准教授 小林 篤	窒化物半導体/超伝導体の量子ビット応用に向けた極低温物性評価	2,000
31	茨城大学 大学院理工学研究科	准教授 小峰 啓史	ナノ構造トポロジカル絶縁体による高効率熱電材料の開発	2,000
32	大阪公立大学 大学院理学研究科	准教授 酒巻 大輔	運動エネルギー駆動無溶媒反応による有機円偏光発光材料の開発	2,000
33	長浜バイオ大学 バイオサイエンス学部	教授 佐々木 真一	クロロフィルポリマー膜を活用した太陽エネルギーの光電変換・蓄電デバイスの高効率化	2,000
34	青山学院大学 理工学部	助教 佐藤 佑樹	非接触界磁給電系を有した波力発電機の開発	2,000
35	鹿児島大学 学術研究院理工学域	准教授 重田 出	多機能性ホイスラー合金を基軸とした革新的磁気熱量材料の開発	2,000
36	明治大学 農学部	准教授 島田 友裕	プロモーター置換法による生分解性プラスチックLAHBの高分子量化技術の開発	2,000
37	東京大学 大学院農学生命科学研究科	教授 霜田 政美	アメリカミズアブ <i>Hermetia illucens</i> から生産されるバイオディーゼル燃料の温室効果ガス削減効果についての検証	2,000
38	東京都立大学 大学院理学研究科	助教 下山 大輔	末端官能基化を基盤とした新規三次元 π 共役有機EL材料の開発	2,000
39	福井大学 カーボンニュートラル推進本部	特命助教 鈴木 遥介	福井県大野市における多層膜材を用いた屋外雪貯蔵の実証実験とその導入可能性検討	2,000
40	山梨大学 大学院総合研究部	准教授 關谷 尚人	超高効率電界共振結合方式ワイヤレス電力伝送システムの開発	2,000
41	横浜国立大学 大学院工学研究院	教授 高垣 敦	担持白金触媒を用いたメタンと窒素酸化物の低温化学変換	2,000
42	北海道大学 大学院工学研究院	助教 高野 力	鉱山および下水処理廃棄物を用いた水素ガス生産・発電プロセスの開発	2,000
43	静岡大学 工学部	教授 高橋 雅樹	強固な分子ネットワークを構築する水素結合性n型ペリレンジイミド半導体の開発	2,000
44	佐賀大学 理工学部	教授 高椋 利幸	環境にやさしく高効率な金属イオン回収のための機能性イオン液体の開発	2,000
45	三重大学 生物資源学部	助教 滝沢 憲治	微細藻類の水熱炭化物の燃焼特性評価	1,800
46	神戸大学 分子フォトサイエンス研究センター	教授 立川 貴士	単一粒子反応解析に基づく自己再生型光触媒の設計原理獲得	2,000
47	秋田工業高等専門学校 創造システム工学科	准教授 趙 明	太陽エネルギーと廃プラスチックを利用したクリーンな水素製造と貯蔵技術の開発	2,000
48	名古屋大学 大学院工学研究科	助教 土肥 侑也	高イオン濃度新規固体高分子電解質の高分子ダイナミクスとイオン伝導性	2,000
49	九州大学 大学院工学研究院	助教 長尾 匡憲	高分子による反応場を利用した高効率なCO ₂ 光還元触媒の開発	2,000
50	東京工業大学 物質理工学院	助教 中島 広豊	TiAl合金における電解めっきを利用した新規ろう接法の基礎的検討	2,000
51	東京大学 大学院農学生命科学研究科	助教 中島 徹	大規模IoT観測網と先端計算機資源の統合による森林DXマネジメントシステムの構築	2,000
52	新潟大学 工学部	准教授 中村 亮太	グリーンインフラストラクチャーを用いた海岸護岸越波量の抑制効果に関する研究	2,000
53	徳島大学 大学院社会産業理工学研究部	教授 長谷崎 和洋	ナノ構造形成を利用した高性能テルル化鉛熱電半導体の開発	2,000
54	東京都立大学 大学院都市環境科学研究科	特任准教授 秦 慎一	超分子金属錯体の機能設計に基づいた電子輸送有機熱電材料	2,000

第50回（2023年度）岩谷科学技術研究助成金受領者

別表1

番号	所 属	役職・研究者	研 究 テ ー マ	助成金額 (千円)
55	九州大学 大学院工学研究院	助教 濱中 晃弘	未利用地下資源の地下水素化技術の開発	2,000
56	京都大学 大学院エネルギー科学研究科	教授 林 潤	燃料種の持つ拡散性と繰り返し放電に誘起される流れが安定火炎核形成に与える効果	2,000
57	大阪工業大学 工学部	教授 東本 慎也	微量ナノ合金を助触媒とする汎用性樹脂光触媒を利用した排水処理システムの高効率化	2,000
58	広島大学 大学院先進理工系科学研究科	助教 平野 知之	固体高分子形燃料電池の高耐久・高性能化に向けた3次元鎖状構造を有するマクロポーラス酸化物触媒担体の開発	2,000
59	宮崎大学 工学教育研究部	教授 福山 敦彦	半導体デバイスにおける散熱・集熱を実現する機能性粒界の探索とその熱伝搬特性の高感度検出技術の開発	2,000
60	京都大学 大学院工学研究科	教授 藤田 晃司	層状ペロブスカイト未踏強誘電体の創製と機能開拓	2,000
61	宇部工業高等専門学校 物質工学科	助教 藤林 将	二酸化炭素吸着を利用したエネルギー変換材料の開発	2,000
62	東京大学 大学院工学系研究科	准教授 松井 裕章	酸化物半導体ナノ粒子の光メタマテリアル制御と低放射熱材料の開発	1,720
63	金沢大学 環日本海域環境研究センター	助教 松中 哲也	有害化学物質群が海洋の二酸化炭素固定（生物ポンプ）に及ぼす影響評価	1,980
64	島根大学 総合理工学部	教授 宮崎 英敏	V ₂ O ₅ 粉末を出発原料としたVO ₂ ナノ粒子合成および複合化によるスマートウインドウの設計	2,000
65	東京工業大学 元素戦略MDX研究センター	助教 宮崎 雅義	大気安定な層状酸水素化物を用いたアンモニア合成・分解触媒の開発	2,000
66	名古屋大学 大学院理学研究科	准教授 邨次 智	燃料電池の高活性化に向けた単一相白金-希土類合金ナノ粒子触媒の開発	2,000
67	筑波大学 数理物質系	教授 守友 浩	温度変化を電気に変換する三次電池によるビーコン駆動	2,000
68	九州大学 次世代燃料電池産学連携研究センター	学術研究員 安武 昌浩	固体高分子形水電解用のRuO ₂ コア-Irシェル触媒を用いた触媒/拡散層一体型電極の開発	2,000
69	宇部工業高等専門学校 物質工学科	教授 山崎 博人	回分式亜臨界水熱反応を用いた藻油バイオ燃料製造プロセスの開発	2,000
70	東北大学 大学院工学研究科	助教 山田 駿介	生分解性MXeneを用いた伸縮性をもつ環境調和型空気電池の作製	2,000
71	長崎大学 大学院工学研究科	准教授 山田 博俊	Electro-chemo-mechanicsに基づくリチウム負極の高耐久化	2,000
72	鹿児島大学 農学部	准教授 吉田 理一郎	花の香り成分である安息香酸メチルをエコフレンドリーな農薬として普及させるための基礎研究	2,000
73	大阪公立大学 大学院工学研究科	准教授 吉村 武	磁界励振型圧電振動子による自立型AI電流センサの実証	2,000
74	中央大学 理工学部	助教 李 恒	光熱起電力効果型ストレッチャブルカメラシートによる液体配管腐蝕のリサイクル撮像利用と選択性を持つオンサイト液質検査パッチシステムへの展開	2,000
75	立命館大学 理工学部	准教授 渡部 弘達	電極界面構造に着目したCO ₂ /H ₂ O共電解における炭素析出メカニズム解明	2,000
		(50音順)	合 計	149,100

第1回（2023年度）岩谷科学技術特別研究助成金受領者

別表2

番号	所 属	役職・研究者	研 究 テ ー マ	助成金額 (千円)
1	広島大学 理学部	特任教授 石谷 治	排ガスに含まれる低濃度CO ₂ の資源化を目指す光触媒の開発	10,000
2	筑波大学 数理物質系	准教授 伊藤 良一	有機ハイドライド法に使用可能なPEM水電解卑金属アノードの開発	10,000
3	横浜国立大学 大学院工学研究院	准教授 稲垣 怜史	多孔質炭素電極を活用する電気化学CO ₂ 吸脱着システムの開発	10,000
4	九州大学 カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所	教授 小江 誠司	新規水素エネルギーキャリアの合成・貯蔵・利用技術の開発	10,000
5	中部大学 理工学部	教授 苅田 丈士	高圧水素ガスを利用した宇宙輸送システム	9,990
6	東北大学 大学院工学研究科	助教 許 島	水素の高効率液体化の実現に向けた高性能固体冷媒材料の開発	9,960
7	京都大学 生存圏研究所	教授 高橋 けんし	ローコストセンサーが拓く環境センシングの新時代へ向けたフィージビリティスタディー	8,100
8	室蘭工業大学 大学院工学研究科	教授 張 俗詰	芳香族・脂肪族塩素化合物の電気及び生物分解によるSDGs実現型PHA生産基質の新規創生とその利用可能性の網羅的な検証	10,000
9	東京大学 生産技術研究所	講師 塚本 孝政	低温駆動型温室効果ガス変換反応を目指した原子クラスター触媒の開発	10,000
10	岡山大学 学術研究院	准教授 寺西 貴志	革新的界面制御技術による超高出力酸化物系全固体電池の開発	10,000
11	京都大学 大学院工学研究科	教授 寺村 謙太郎	格子酸素レドックスを利用した貴金属フリーCO ₂ 水素化	10,000
12	東北大学 大学院環境科学研究科	准教授 轟 直人	再生可能エネルギー由来の変動電力環境で高活性を維持する非イリジウム系酸素発生触媒構造の解明	10,000
13	東京理科大学 理学部第一部	教授 根岸 雄一	水素社会への移行を加速させる高活性及び高耐久性を有する燃料電池電極触媒の創出	10,000
14	工学院大学 先進工学部	准教授 前野 禅	排ガス中の低濃度CO ₂ の回収・還元的資源化に向けた表面機能集積触媒の精密設計開発と非定常反応システムの構築	10,000
		(50音順)	合 計	138,050

第50回(2023年度)岩谷直治記念賞 受賞者一覧

No	対象	受賞者		推薦者	開発業績
		所属	代表者		
1	一般	一般財団法人電力中央研究所 エネルギー変換センター 材料科学研究部門	研究参事 土田 秀一	一般財団法人 電力中央研究所 理事長 平岩 芳朗	高品質SiC単結晶膜の高速製造技術の開発と応用
2	中小企業	株式会社I・D・F	取締役会長 山本 憲一	東北大学 未来科学技術共同研究センター センター長 教授 長坂 徹也	低内部抵抗マンガン酸リチウムイオン電池の開発とドライルームレスによる製造・実用化
3	中小企業	トキワ精機株式会社	代表取締役 木村 洋一	公益財団法人 大田区産業振興協会 理事長 川野 正博	穴あけ加工不要の油圧配管継手「まるみ君」の開発によるエネルギー使用の削減

第49回(2023年度)岩谷国際奨学生

別表4-1

	氏名	国・地域	大学・専攻	課程
1	何 鑫妍 HE XINYAN	中国 25才	弘前大学 農学生命科学	M2
2	金 淳暁 KIM SOONHYO	韓国 26才	東京大学 知能機械情報学	M2
3	薛 慧炅 SEOL HYEKYUNG	韓国 23才	京都大学 生物科学	M1
4	頼 承筠 LAI, CHENG-YUN	台湾 25才	名古屋大学 森林・環境資源科学	M2
5	呂 芳宇 LU FANG YU	台湾 24才	関西大学 化学生命工学	M2
6	ウイトゥメン ダラム UITUMEN DARAM	モンゴル 28才	長崎大学 総合工学	M2
7	ツェレンサンブー マンドハイ TSERENSAMBUU MANDUKHAI	モンゴル 25才	岩手大学 デザイン・メディア工学	M1
8	サオ サンボ SAO SAMBO	カンボジア 27才	北海道大学 北方圏環境政策工学	M1
9	エルモ ジュアナラ ELMO JUANARA	インドネシア 28才	北陸先端科学技術大学院大学 創造社会デザイン研究領域	D1
10	マーシェル エマニュエル タンパ MARSHEL EMMANUELLE TAMPAH	インドネシア 26才	東京大学 システム創成学	M2
11	パヴィトラン ジャヤプラバガラン PAVITHREN JAYAPRABAGARAN	マレーシア 24才	豊橋技術科学大学 応用化学・生命工学	M1
12	シャルマディ ヴェール SHARUMADHI VELOO	マレーシア 26才	豊橋技術科学大学 応用化学・生命工学	D1
13	ラス ヒシャダン フザイリ ビン ラス ヒルミ RUS HISHDAN HUZAIRI BIN RUS HILMY	マレーシア 23才	山梨大学 土木環境工学	M1
14	チョ チョ エイ CHO CHO AYE	ミャンマー 27才	宮崎大学 工学	M2
15	ワガン アン エレイン WAGAN ANN ELAINE	フィリピン 29才	京都大学 応用生物科学	D1
16	スックムナード プットティタ PHUTTHITA SOOKKUMNERD	タイ 26才	長岡技術科学大学 機械工学	M1
17	レ ティ ゴック アン LE THI NGOC ANH	ベトナム 25才	岩手大学 農学	M1
18	ルーン フー ユン LUONG HUU DUNG	ベトナム 25才	茨城大学 理学	M1
19	グエン ティ トゥ マイ NGUYEN THI THU MAI	ベトナム 25才	愛媛大学 理工学	M1

第48回（2022年度）岩谷国際奨学生 継続者

別表4-2

	氏名	国・地域	大学・専攻	課程
1	金 経祚 KIM KYOUNGJO	男 27才 韓国	東京大学 バイオエンジニアリング	M2
2	ビドバヤサフ ホラン BIDBAYASAKH KHULAN	女 22才 モンゴル	豊橋技術科学大学 応用化学・生命工学	M2
3	ジャミヤンプレブ ソヨルマー JAMIYANPUREV SOYOLMAA	女 23才 モンゴル	信州大学 農学	M2
4	イサン ラマダニ IHSAN RAMADHANI	男 26才 インドネシア	大阪大学 応用化学	M2
5	シアミタ クスマ デウイ SHIAMITA KUSUMA DEWI	女 31才 インドネシア	岐阜大学 生物環境科学	D3
6	グレン キュー マン ロング GLEN KHEW MUN LOONG	男 26才 マレーシア	山口大学 機械工学系	D2
7	ヌルル ファルザナ アイミ ビンティ アブドラ NURUL FARZANA AIMI BINTI ABDULLAH	女 24才 マレーシア	新潟大学 材料生産システム	M2
8	ハン ネー アウン HAN NAY AUNG	男 24才 ミャンマー	関西学院大学 情報科学	M2
9	レー ティ アイン LE THI ANH	女 26才 ベトナム	石川県立大学 食品科学	M2

第46回（2020年度）岩谷国際奨学生 継続者

	氏名	国・地域	大学・専攻	課程
1	グエン ティ ズエン NGUYEN THI DUYEN	女 27才 ベトナム	鹿児島大学 農林資源科学	M2